



2018年10月期 第2四半期 決算説明会資料



2018年5月31日
株式会社エイチ・アイ・エス
東証一部：9603

1. 決算概要



連結業績

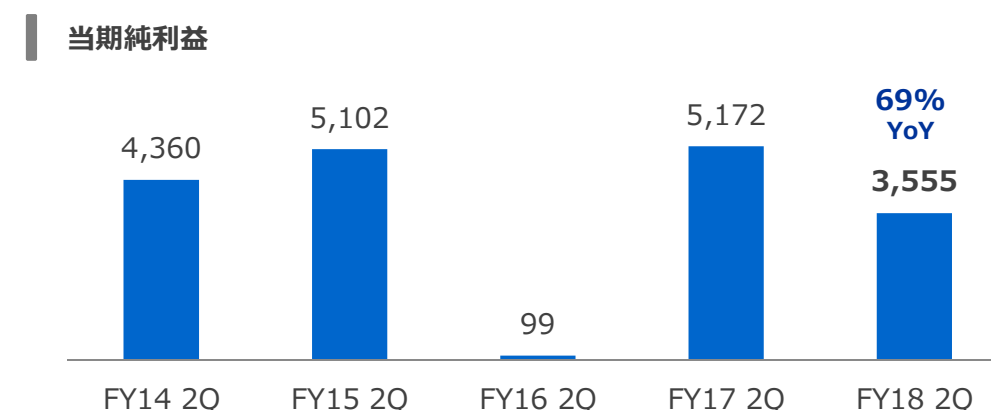
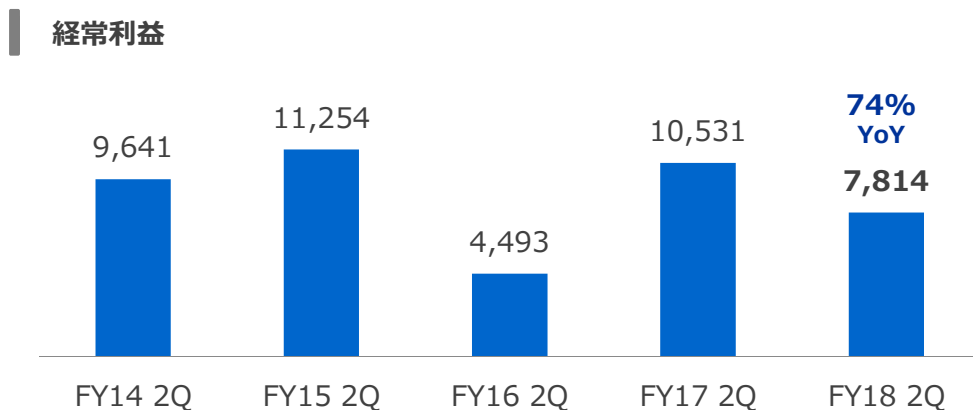
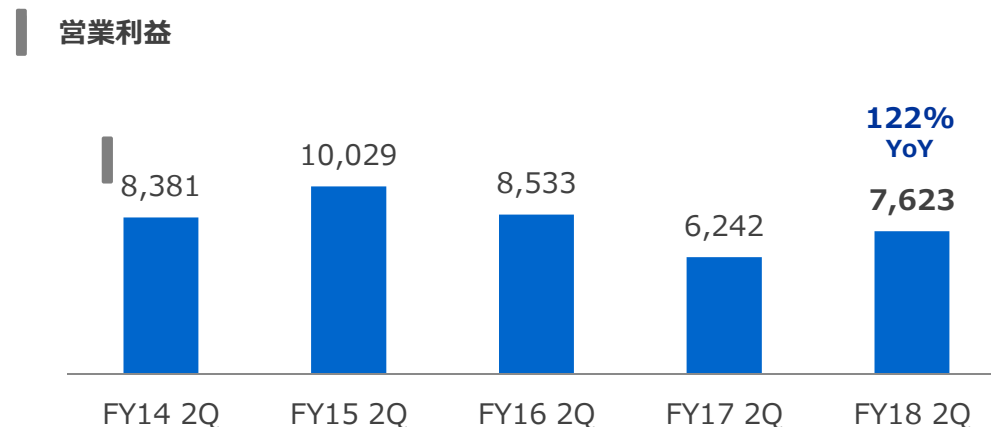
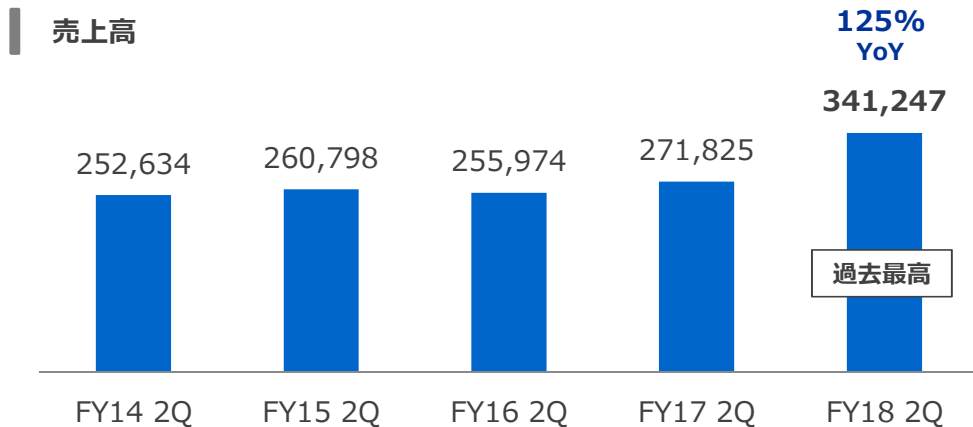
(百万円)

	FY2017 2Q	FY2018 2Q	+ -	YoY
売上高	271,825	341,247	+69,422	125.5%
売上総利益	52,541	63,438	+10,897	120.7%
販管費	46,298	55,814	+9,515	120.6%
営業利益	6,242	7,623	+1,381	122.1%
EBITDA	9,718	12,035	+2,317	123.8%
経常利益	10,531	7,814	▲2,716	74.2%
当期純利益	5,172	3,555	▲1,617	68.7%
拠点数	国内	293	▲12	95.9%
	海外	253	+21	108.3%
従業員数 (人)	15,297	17,174	+1,877	112.3%



連結業績推移

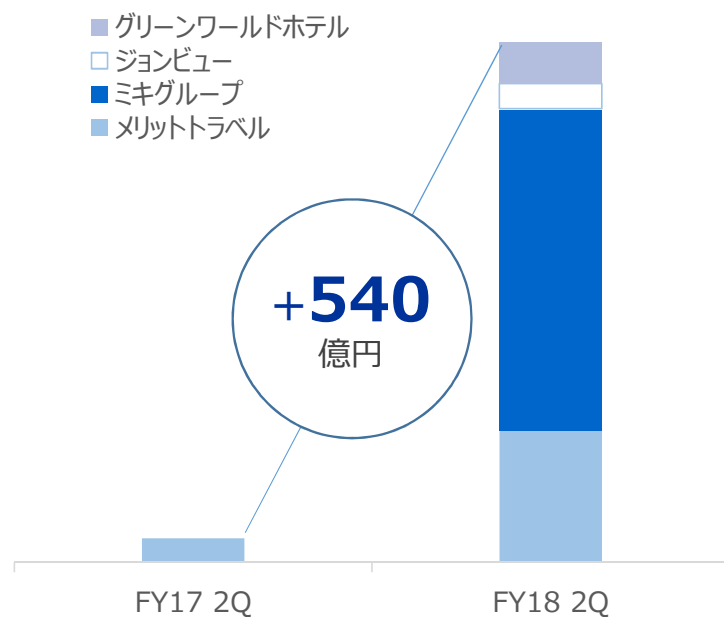
(百万円)



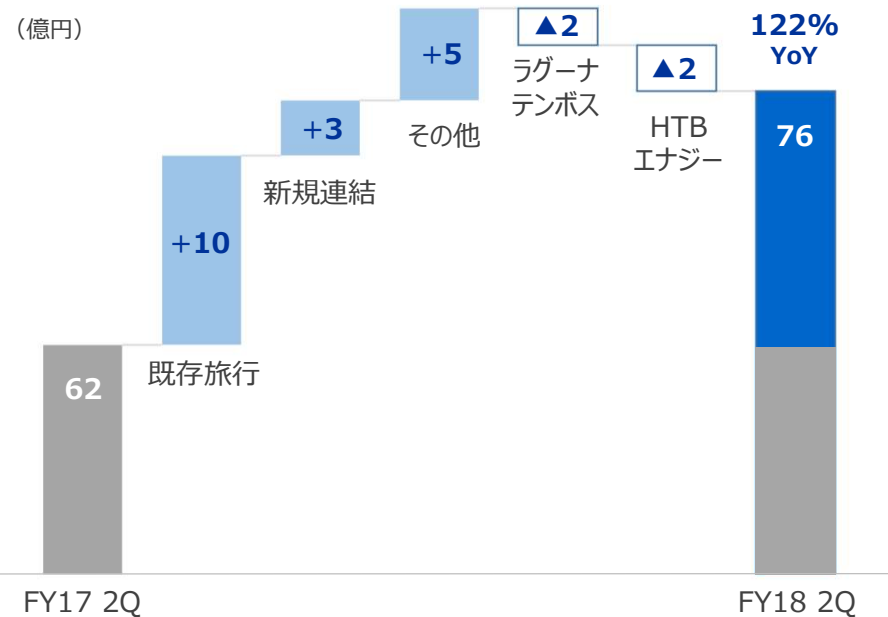
売上高・営業利益

期首の計画に対しては未達も、新規連結寄与及び既存旅行事業が順調に推移し **増収増益で着地。**

新規連結による増収額



営業利益の増減額

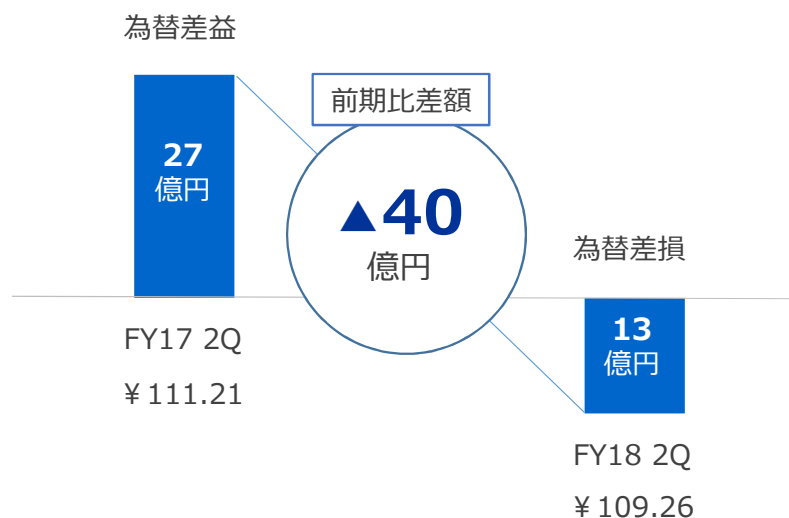


経常利益・当期純利益

円高基調による為替差損13億円を計上。

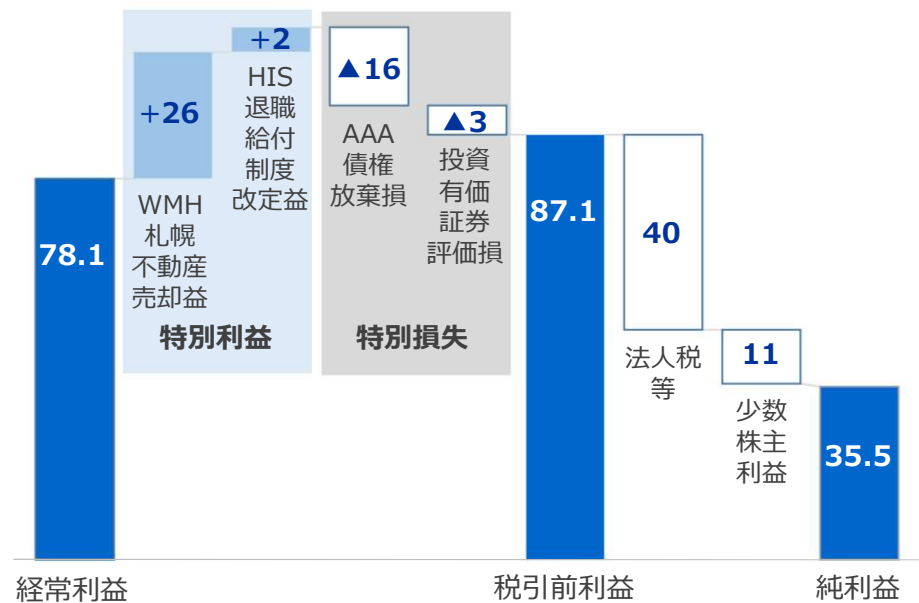
ウォーターマーク(WMH)札幌不動産売却による特別利益26億円、アジアアトランティックエアラインズ(AAA)の債権放棄による特別損失16億円を計上。

為替差損益



純利益までの増減要因

(億円)



事業セグメント別

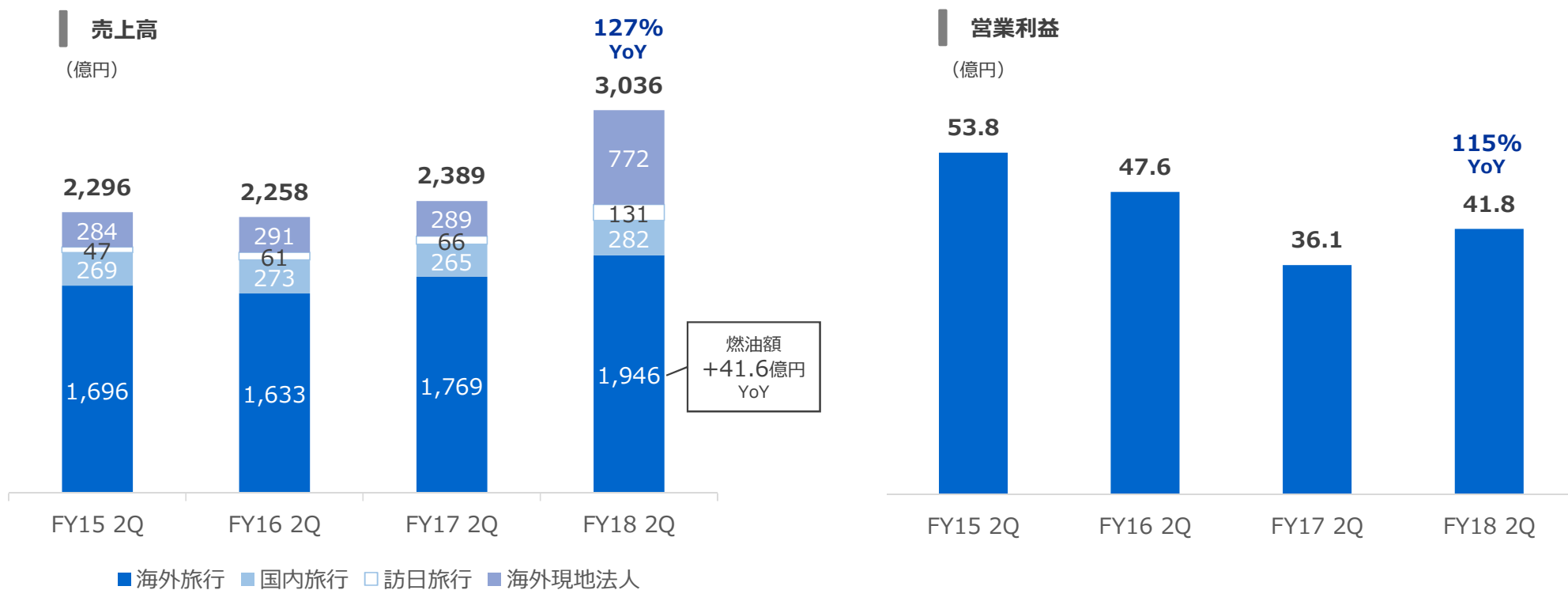
(百万円)

FY2018 2Q	売上高	YoY	営業利益	YoY	営業利益率	EBITDA	YoY	EBITDA率
旅行事業	303,688	127.1%	4,189	115.9%	1.4% ▲0.1pt	6,117	124.8%	2.0% ▲0.1pt
ハウステンボスグループ	20,823	122.5%	3,620	96.0%	17.4% ▲4.8pt	4,598	98.2%	22.1% ▲5.4pt
ホテル事業	6,240	172.4%	713	144.4%	11.4% ▲2.2pt	1,386	153.9%	22.2% ▲2.7pt
九州産交グループ	10,845	97.0%	349	143.1%	3.2% +1.0pt	805	100.3%	7.4% +0.2pt
その他・調整等	▲349	-	▲1,249	-		▲873	-	
合計	341,247	125.5%	7,623	122.1%	2.2% ▲0.1pt	12,035	123.8%	3.5% 0.0pt



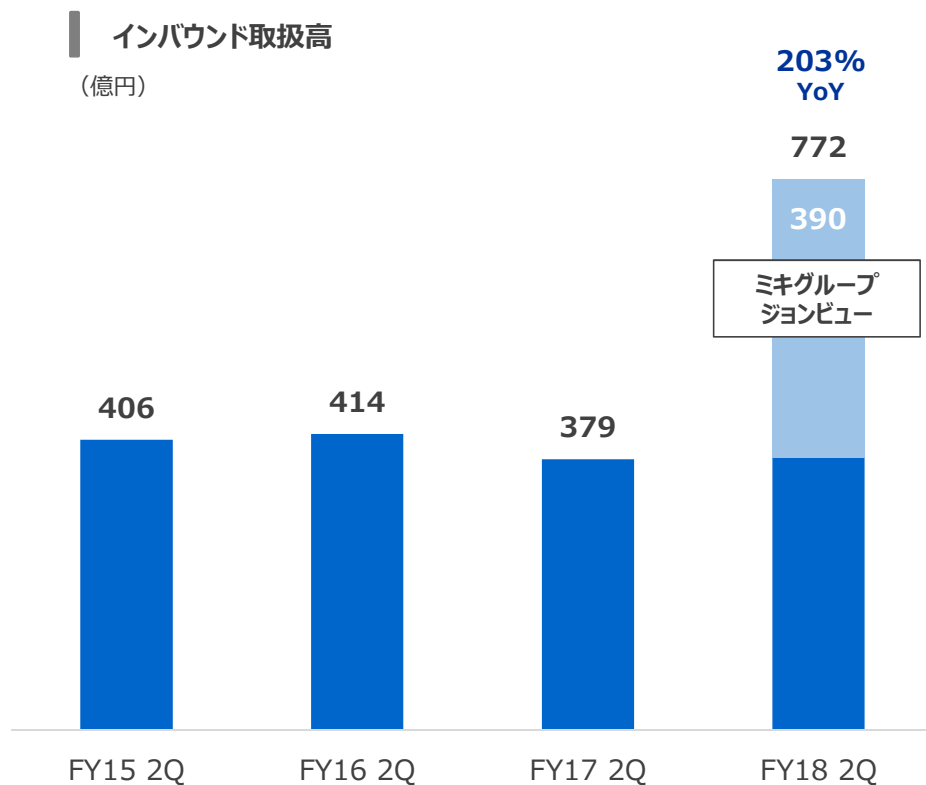
旅行事業

- 海外現地法人は、**新規連結の増収効果**により、売上高が YoY**267%**と拡大。
- 訪日旅行事業は、旧正月や花見シーズンに合わせた**商材強化により**、売上高が YoY**196%**の成長。
- 日本発海外旅行は、グアムが減便等の影響により 売上高が26%減少するも、YoY**120%**と好調な欧州でカバー。

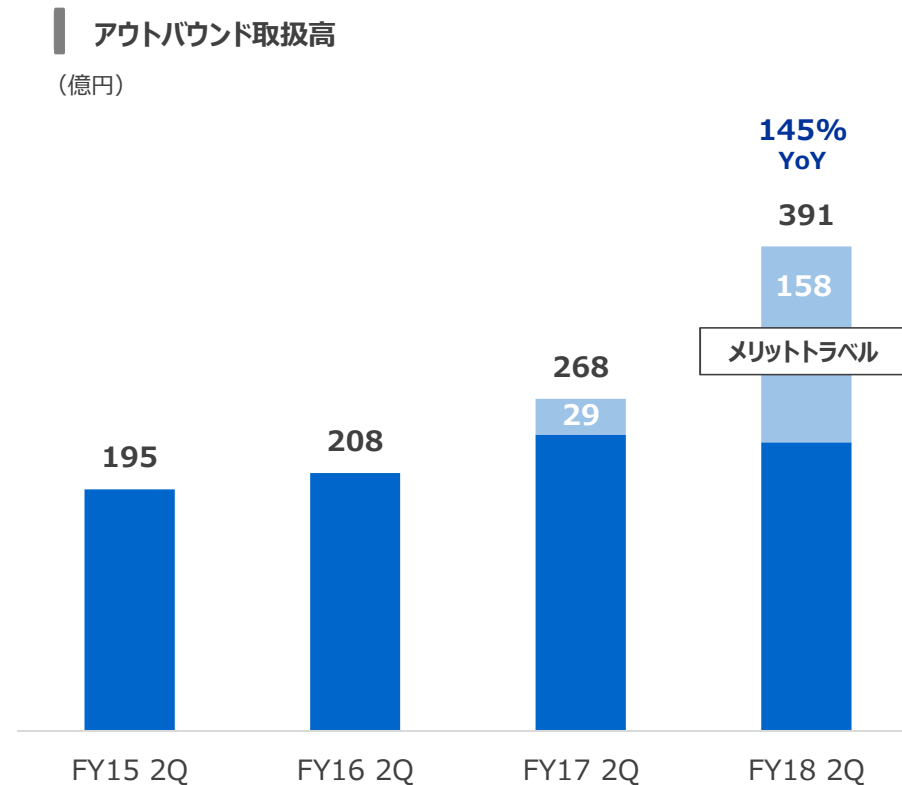


[補足資料] 旅行事業 海外現地法人

インバウンド取扱高
(億円)



アウトバウンド取扱高
(億円)

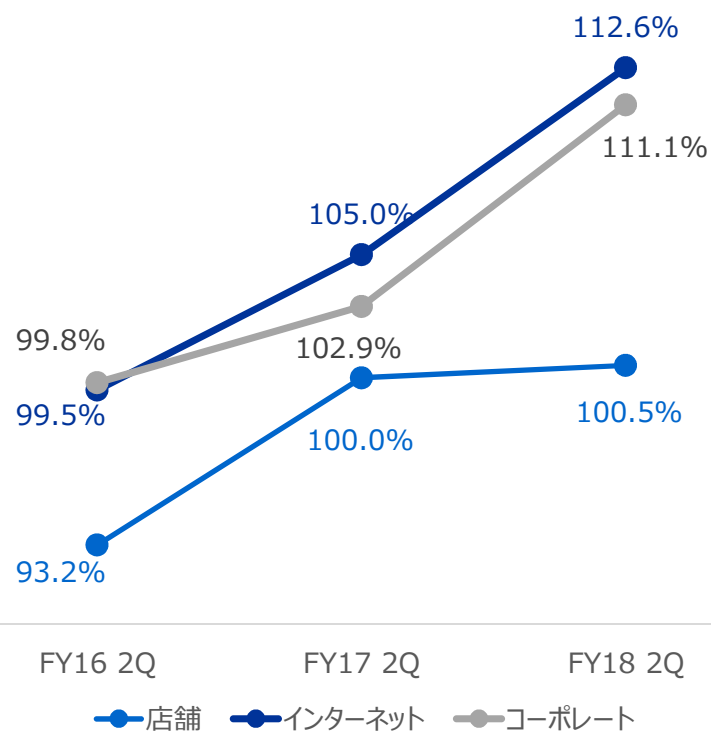


※ 内部取引相殺前及び連結調整前

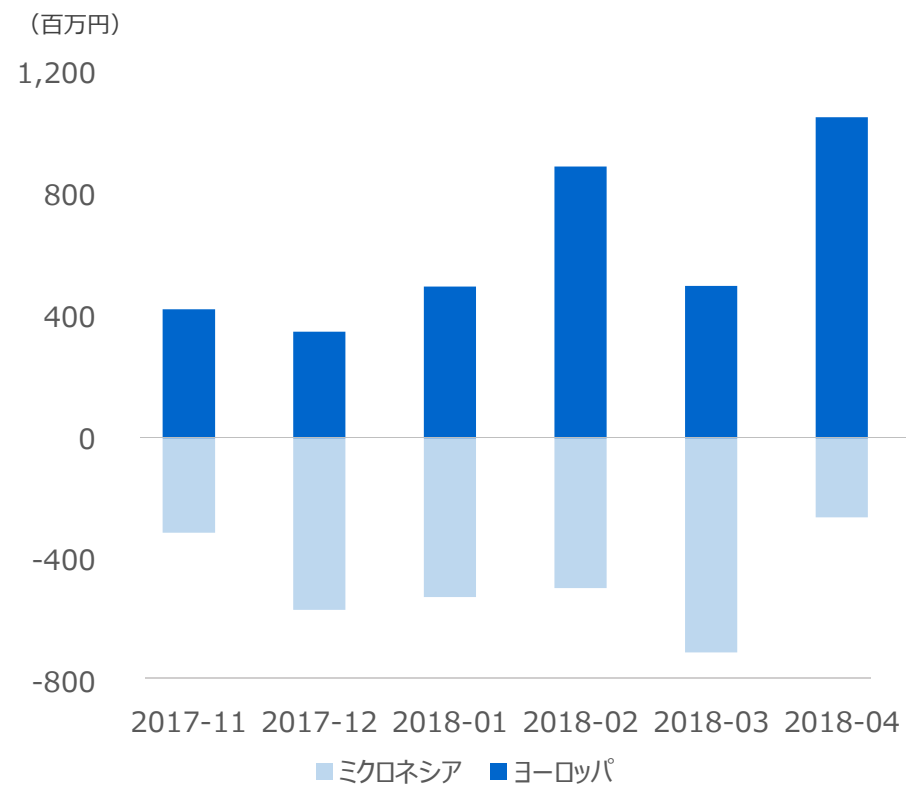
©2018 H.I.S. Co., Ltd. IR Sec.

[補足資料] 旅行事業 海外旅行

チャンネル別売上高 前期比推移



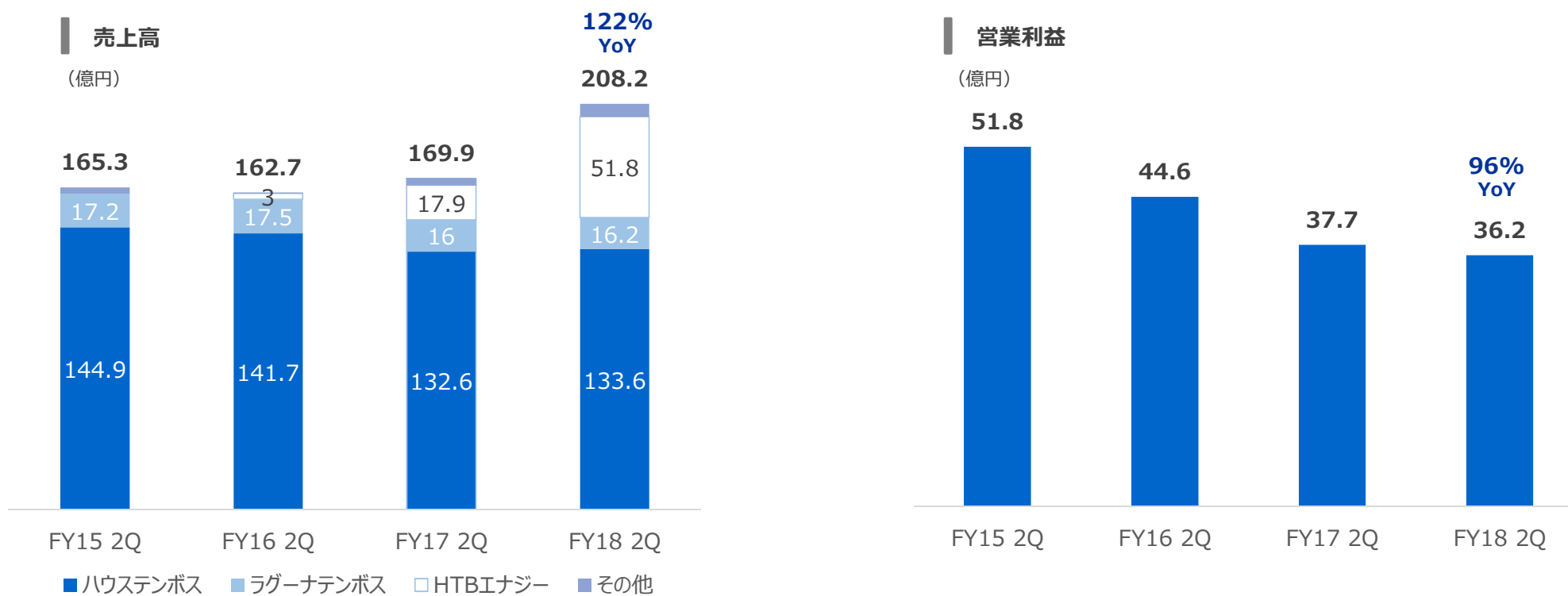
欧州・マイクロネシア 月次取扱増減額



ハウステンボスグループ

売上高は、HTBIナジールの成長により YoY 122%と好調に推移。

営業利益は、ラグーナテンボスの入場者数減と、HTBIナジールの燃料コストの増加により、YoY 4%減。



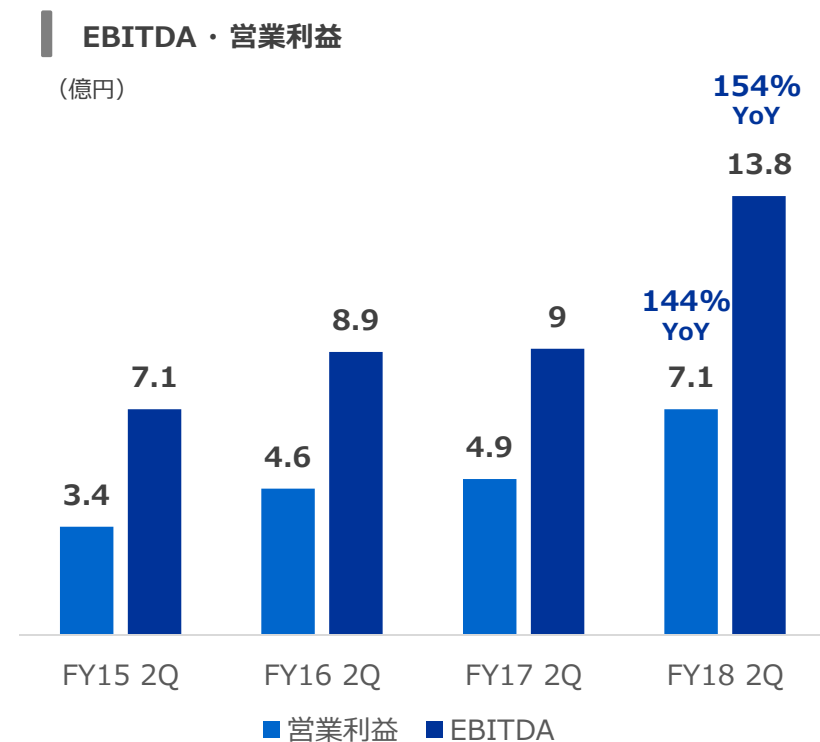
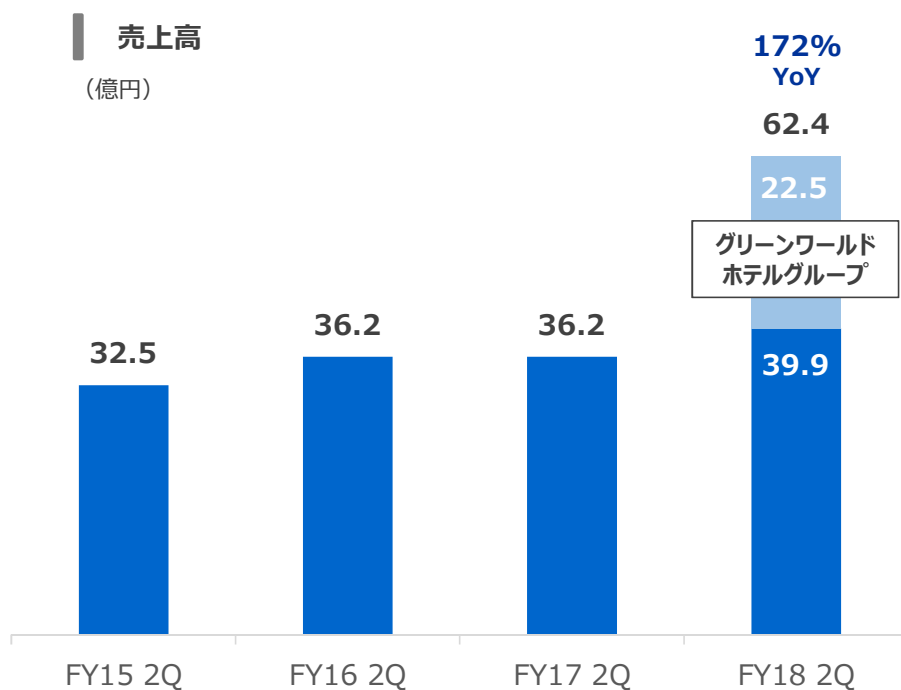
ハウステンボスグループ ハウステンボス単独業績

■ 入場者数は減少も、場内消費機会の拡大により、取扱高・営業利益とも **前期水準まで回復**。

	FY2017 2Q	FY2018 2Q	YoY
			万人
入場者数	147.7	139.6	94.4%
内、海外客数	8.7	9.0	103.6%
宿泊者数	16.1	15.8	98.1%
			百万円
取扱高	14,397	14,529	100.9%
売上総利益	11,156	11,172	100.1%
販管費	7,047	7,060	100.2%
営業利益	4,109	4,111	100.1%
			円
単価	9,747	10,407	106.7%

ホテル事業

- 前期第3四半期末に子会社化した**台湾のグリーンワールドホテルグループ**が大きく増収に寄与し、売上高はYoY 172%。
- 変なホテルの首都圏での展開も順調に推移。



[補足資料] ホテル事業 当期開業ホテル

変なホテル東京 西葛西

- 開業日：2017年12月15日
- アクセス：東京メトロ東西線 西葛西駅 徒歩3分
- スペック：全100室・13㎡～19㎡
- コンセプト：「和テイスト」
- TDRまで車で10分



変なホテル東京 銀座

- 開業日：2018年2月1日
- アクセス：東京メトロ有楽町線 新富町駅 徒歩3分
- スペック：全98室・13㎡～19㎡
- コンセプト：「五大洲のお客様が集う場所」
- 銀座まで徒歩8分、築地市場まで徒歩5分



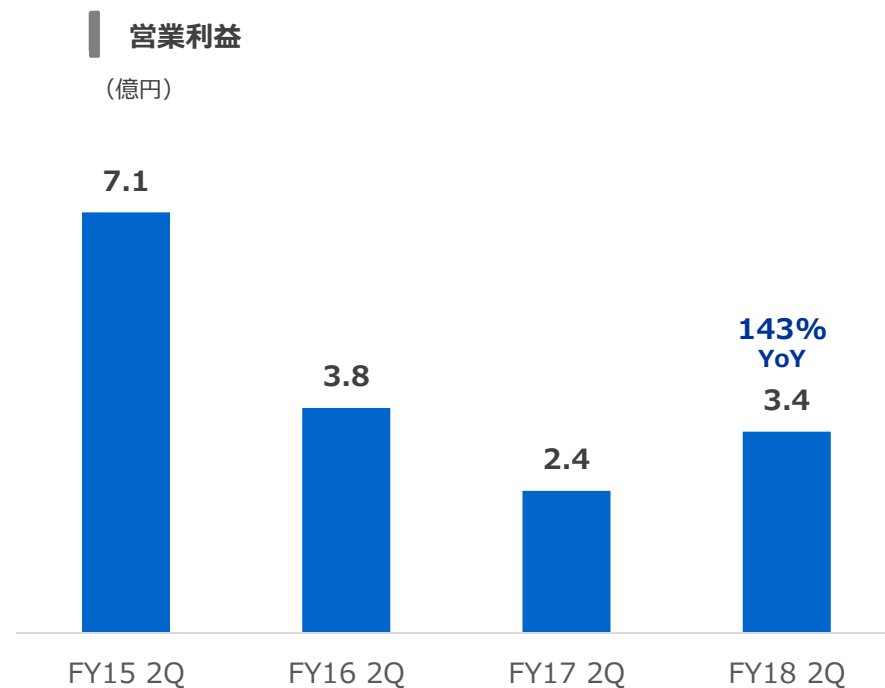
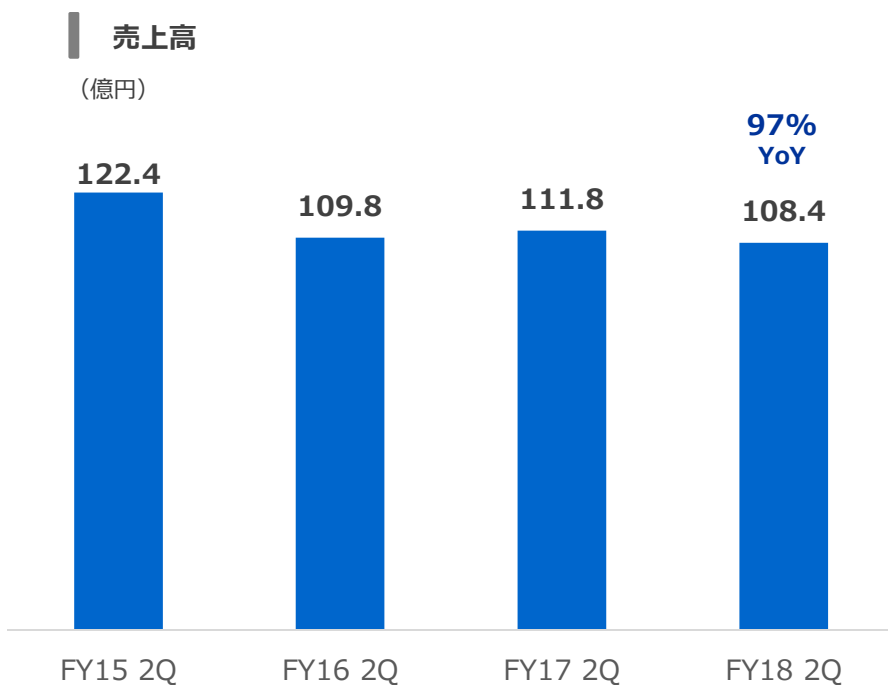
変なホテル東京 浜松町

- 開業日：2018年4月27日
- アクセス：JR山手線 浜松町駅 徒歩2分
- スペック：全118室・12㎡～19㎡
- コンセプト：「最上の眠りと健康」
- 東京タワー徒歩10分、羽田空港 直通20分



九州産交グループ

- 売上高は、**2月の降雪**での高速道路通行止により、**貸切バスやバス旅行、サービスエリアの売上が減少**したことで、YoY 97%。
- 営業利益は、**営業費用の減少**により、YoY 143%。



2. 2018年10月期 業績見通し 及び 今後の取り組み

FY2018 業績見通し

- 地政学的リスクなど外的要因影響は依然残るものの、繁忙期である夏のレジャー需要は堅調に推移すると想定。
- 前期に新規連結（期中）となったM&Aによるグループ会社が年間寄与となり、売上高は大幅に増加の見込み。

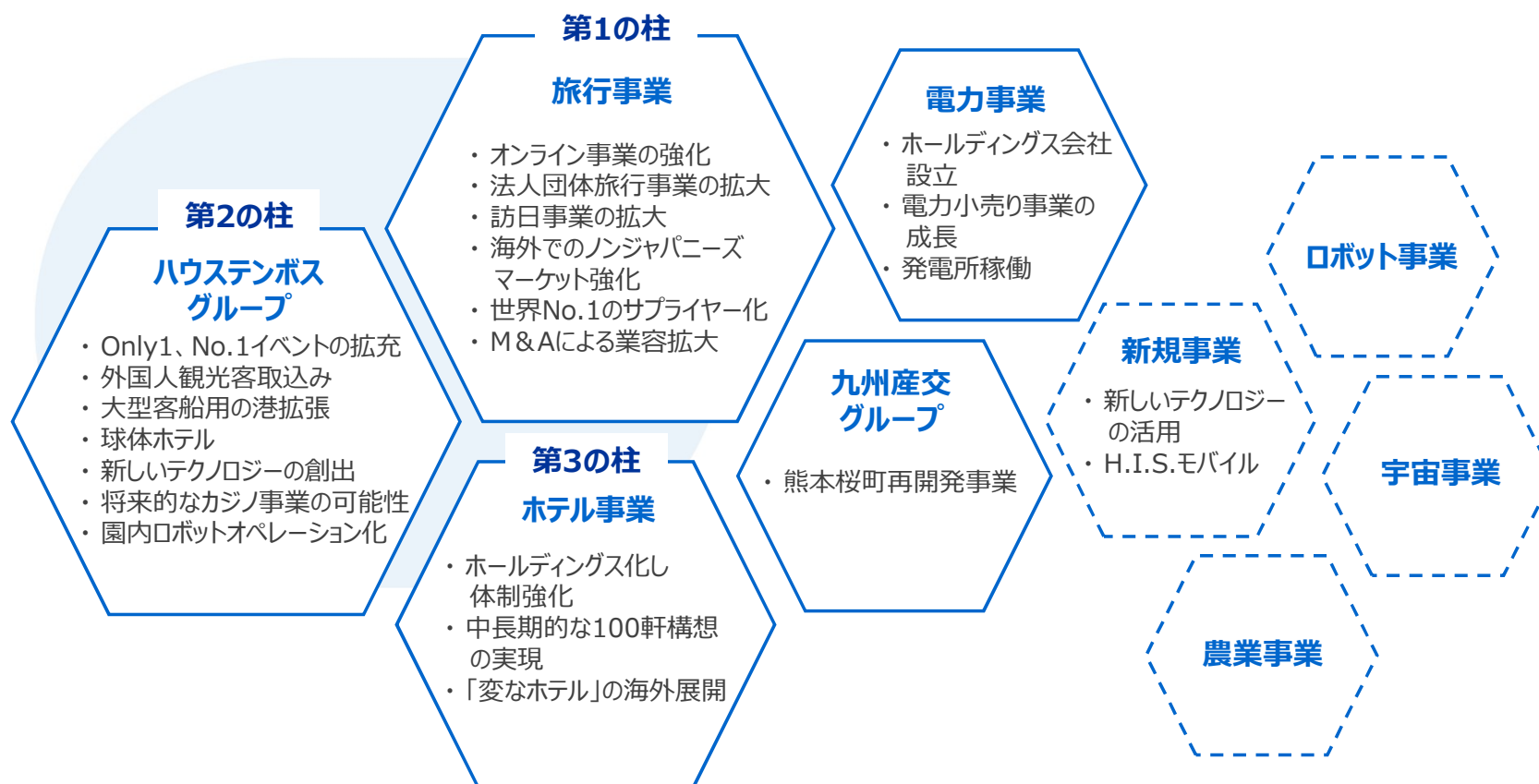
(百万円)

	FY2017	FY2018	YoY
売上高	606,024	720,000	118.8%
営業利益	15,915	17,300	108.7%
経常利益	19,647	17,500	89.1%
当期純利益	13,259	9,100	68.6%
配当（円）	29	29	

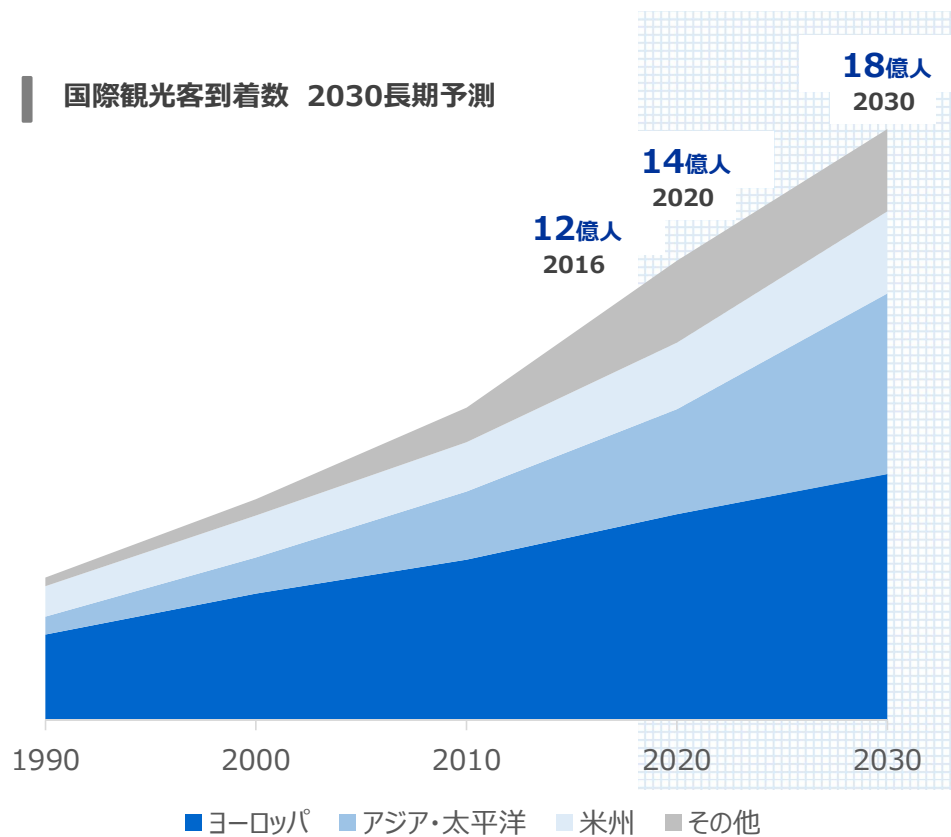
※ 2018年4月27日に業績予想の修正に関するお知らせで公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後の取り組み ハイライト

■ 新たな事業の展開により、**強固なポートフォリオの構築**を目指す。



今後の取り組み 旅行市場環境



出典：UNWTO

世界の海外旅行者数

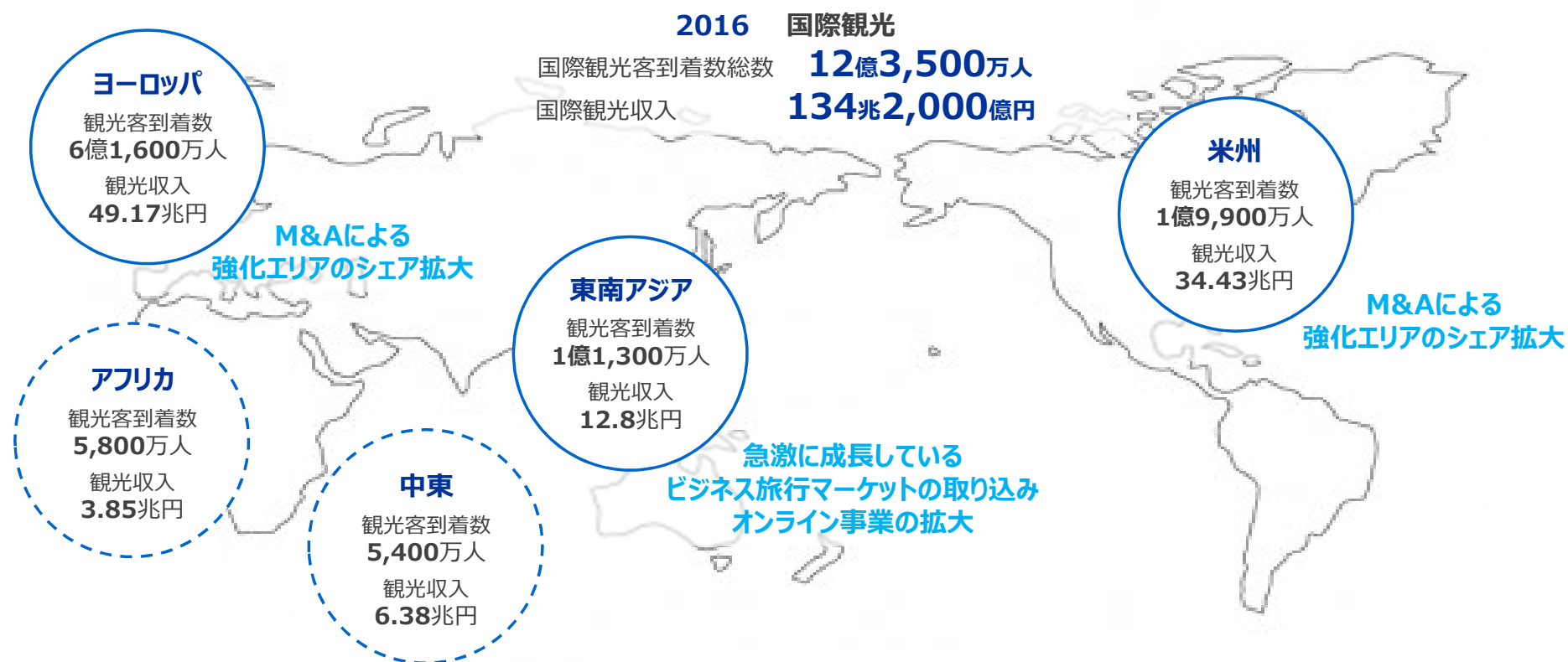
12億人

1.5倍

18億人

今後の取り組み 海外における旅行事業

■ M&Aや既存現地法人の成長により、世界の旅行マーケットにあわせた展開を加速。



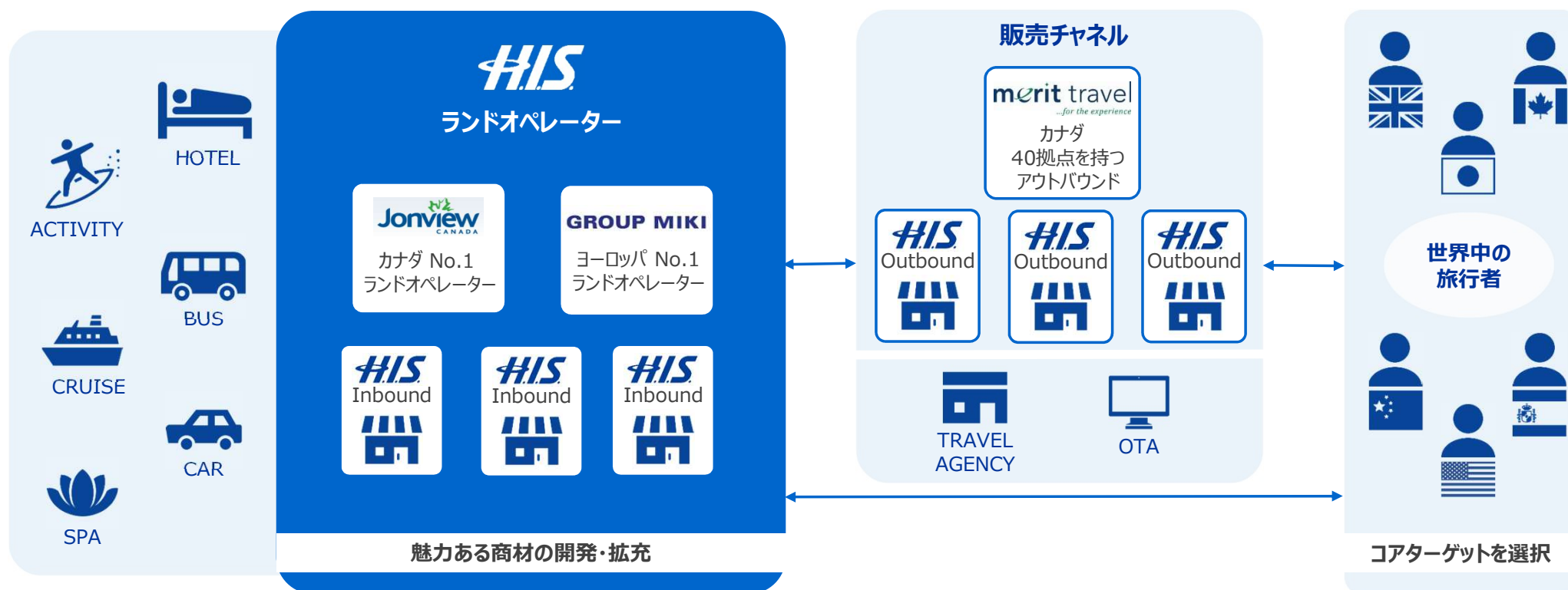
出典：UNWTO \$1=110円換算

海外拠点数：70カ国158都市274拠点（4月末現在）

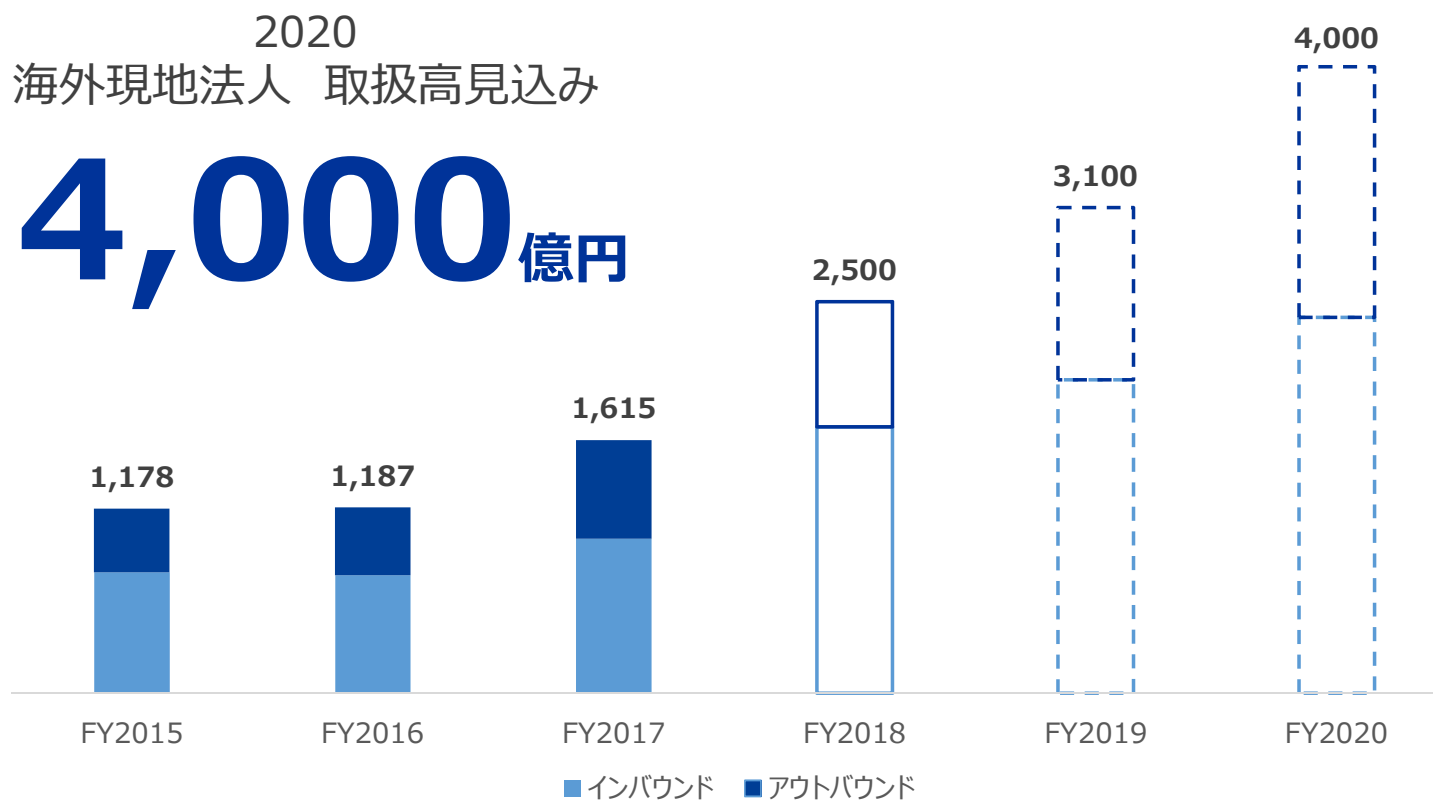


今後の取り組み 海外における旅行事業

他にはない現地サービスを創出する、**世界No.1のランドオペレーター**へ。



今後の取り組み 海外における旅行事業



※ 内部取引相殺前及び連結調整前

©2018 H.I.S. Co., Ltd. IR Sec.

今後の取り組み 日本における旅行事業

H.I.S.でしかとれない席あり

H.I.S. オリジナル

夏のグアム チャーター便 登場

7-10月
出発

約18,000席ご用意!

幼児代金
0円!

お子様大歓迎!
LoaLea
キッズラウンジ

ツアーデスクが安心サポート
LoaLeaラウンジ

特別に選定
LoaLea
トロリー

機中で使える
LoaLeaWi-Fiサービス

目録はスタッフまで

96本

H.I.S.史上最大
チャーター本数



新企画

ヨーロッパ強化

H.I.S.だけの貸切&特別企画 内容充実

新規顧客開拓

フライ&クルーズ強化

クルーズプラネットと共同で
スケールメリットをいかし商材を強化



今期初

LeaLeaラウンジ OPEN

H.I.S.のお客様専用のオリジナルサービスを
多数展開

そら
美ら宙 催行スタート

星のソムリエ®が沖縄の夜空をご案内

今後の取り組み 訪日旅行事業



4倍

自社主催
訪日日帰り観光バス
取扱人数

自社オリジナル商材の強化

今後の取り組み ハウステンボス 単独業績見込み

3つの強化項目を実施し、入場者数300万人台へ回復させ、増収増益を計画。

- **イベント**強化 → オンリーワン、ナンバーワンイベントの拡充
- **マーケティング**強化 → 顧客の獲得（海外、九州域外）
- **営業力**強化 → 団体営業、旅行会社からの予約

(百万円)

	FY2017	FY2018	YoY
入場者数	288万人	302万人	105%
売上高（取扱高）	29,150	30,100	103%
営業利益	7,587	7,900	105%



花の大運河 世界最長

秋の花で彩られた「虹色の花運河」が登場し、
ヨーロッパの街を華やかに彩ります



NEW
スポット

日本最大

4大ウォーターパーク
登場

真っ白な砂浜と様々なスライダーを備えた
広大な野外プールエリアが誕生！

ラグーナテンボスにも
海上ウォーターパーク新登場！

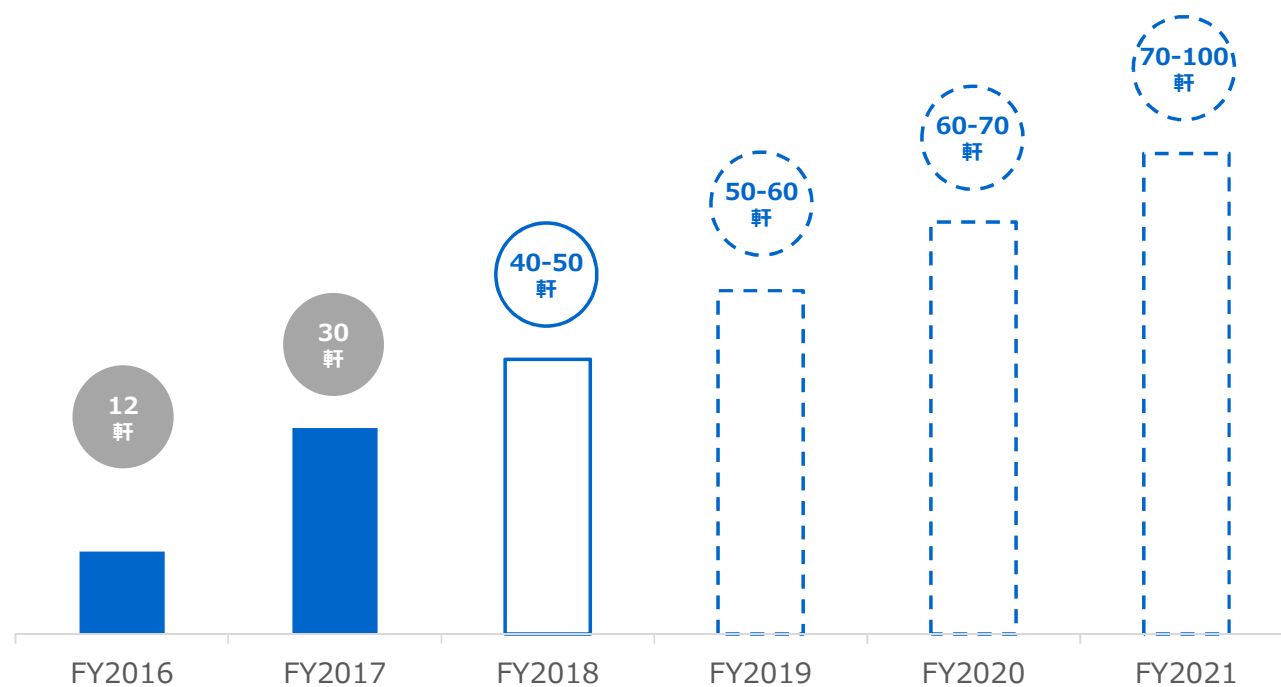


最新ウォークスルー型AR（拡張現実）
シューティングアトラクション

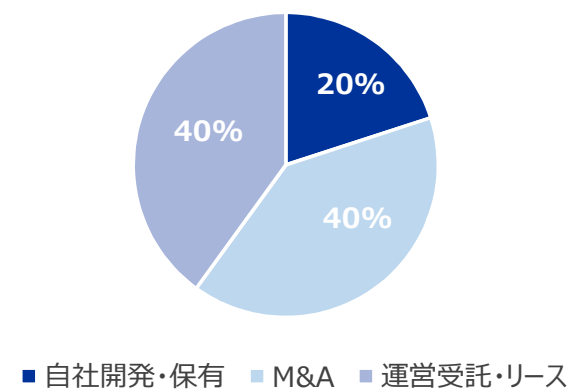
ジュラシック アイランド 夏オープン

今後の取り組み ホテル事業

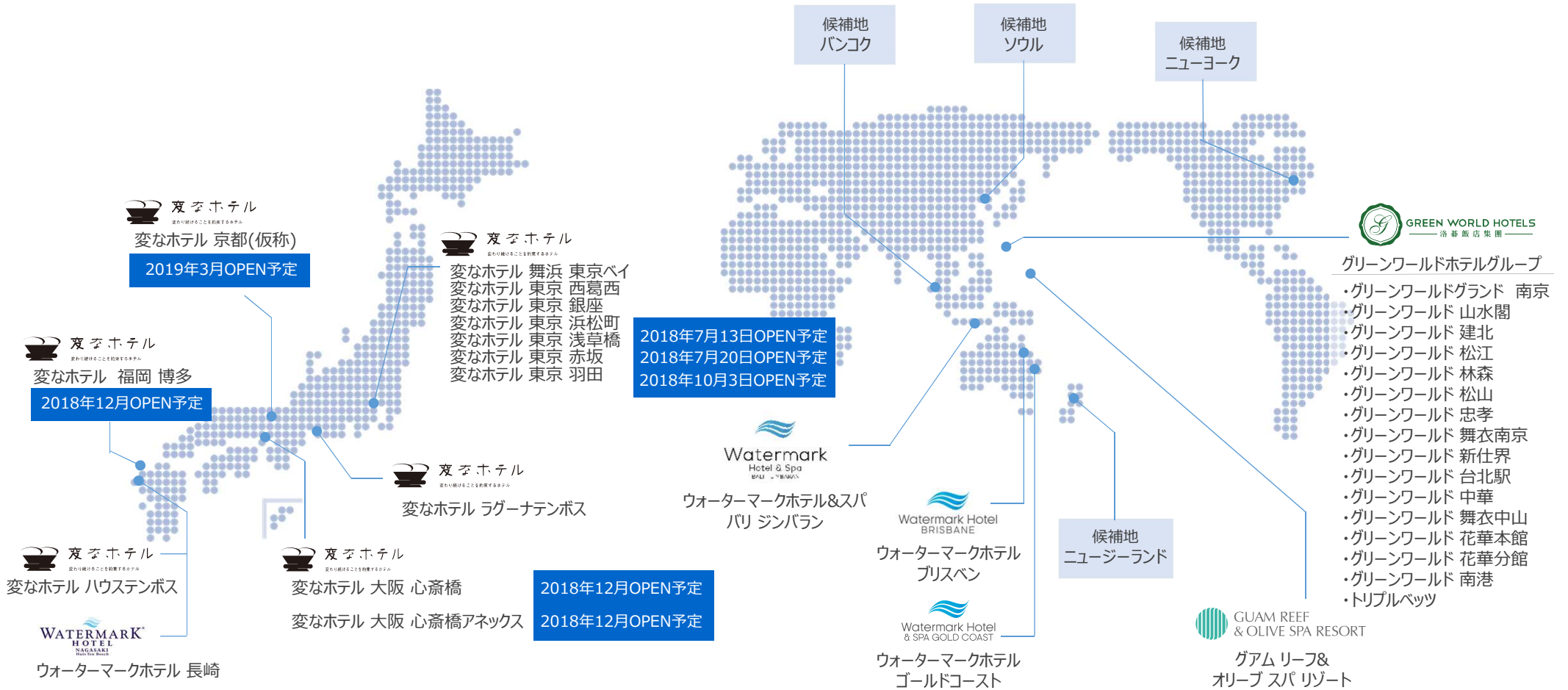
■ 変なホテルブランドを中心に、**中長期的に100軒**を目指す。



運営スタイル (想定)



今後の取り組み ホテル事業



今後の取り組み 九州産交グループ 再開発事業

■ 熊本県桜町の再開発事業は順調に進行中。

再開発概要

延床面積：160,330㎡（東京ドーム約3.5個分）

商業施設：150店舗 B1階～4階
バスターミナル：26乗り場
駐 車 場：836台

所有

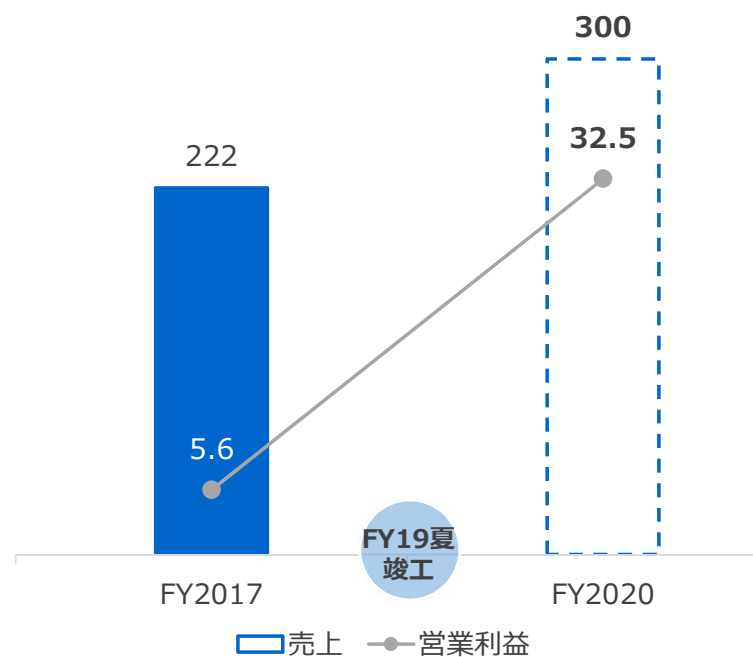
ホテル：205室
マンション：159戸 ※完売
シネコン：東宝9スクリーン
コンベンションセンター：最大3,000人収容
オフィス：3フロア
バンケット



2018年5月撮影

再開発後の収益イメージ

(億円)



今後の取り組み エネルギー事業

「H.I.S. エネルギーホールディングス」を設立し、エネルギー事業のより一層の成長を目指す。

H.I.S. SUPER電力による発電所建設

バイオマス発電所建設 「H.I.S.角田エネルギーパーク」

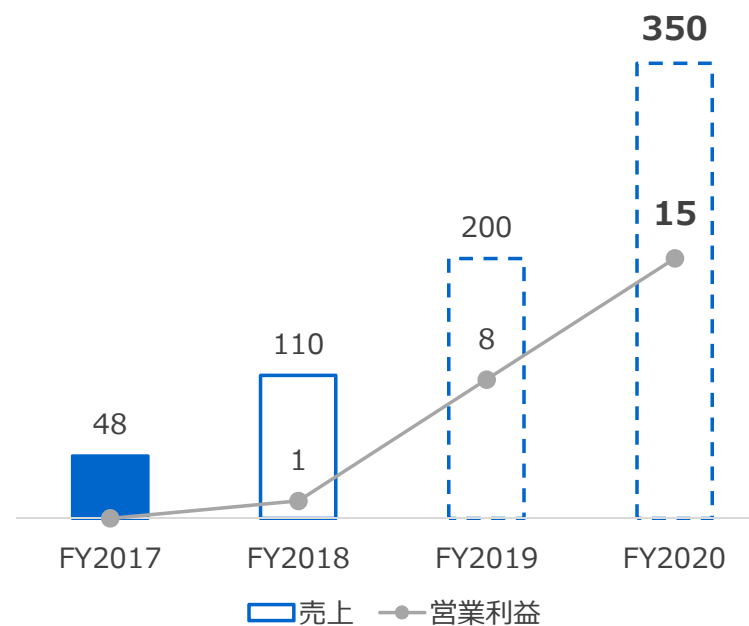
敷地面積：20,160㎡
設備出力：41,100kw
売電開始：2019年7月（予定）
想定売上：80億円



(イメージ)

HTBエナジー 売上・利益計画

(億円)



3. 財務方針



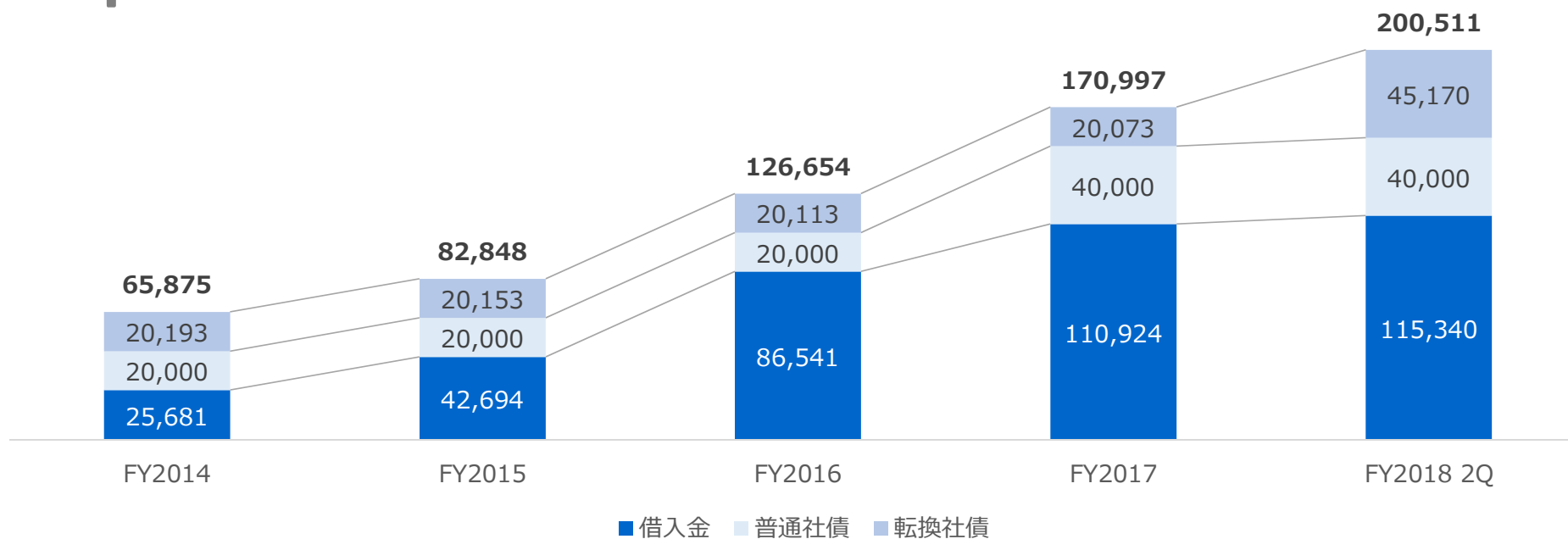
財務状況

■ 資金調達

- ・2018年4月末の有利子負債残高は2,005億円。
- ・2017年11月に転換社債（ユーロ円CB）250億円を発行。
- ・資金用途は、設備投資、借入金の返済、自社株買い等。

有利子負債

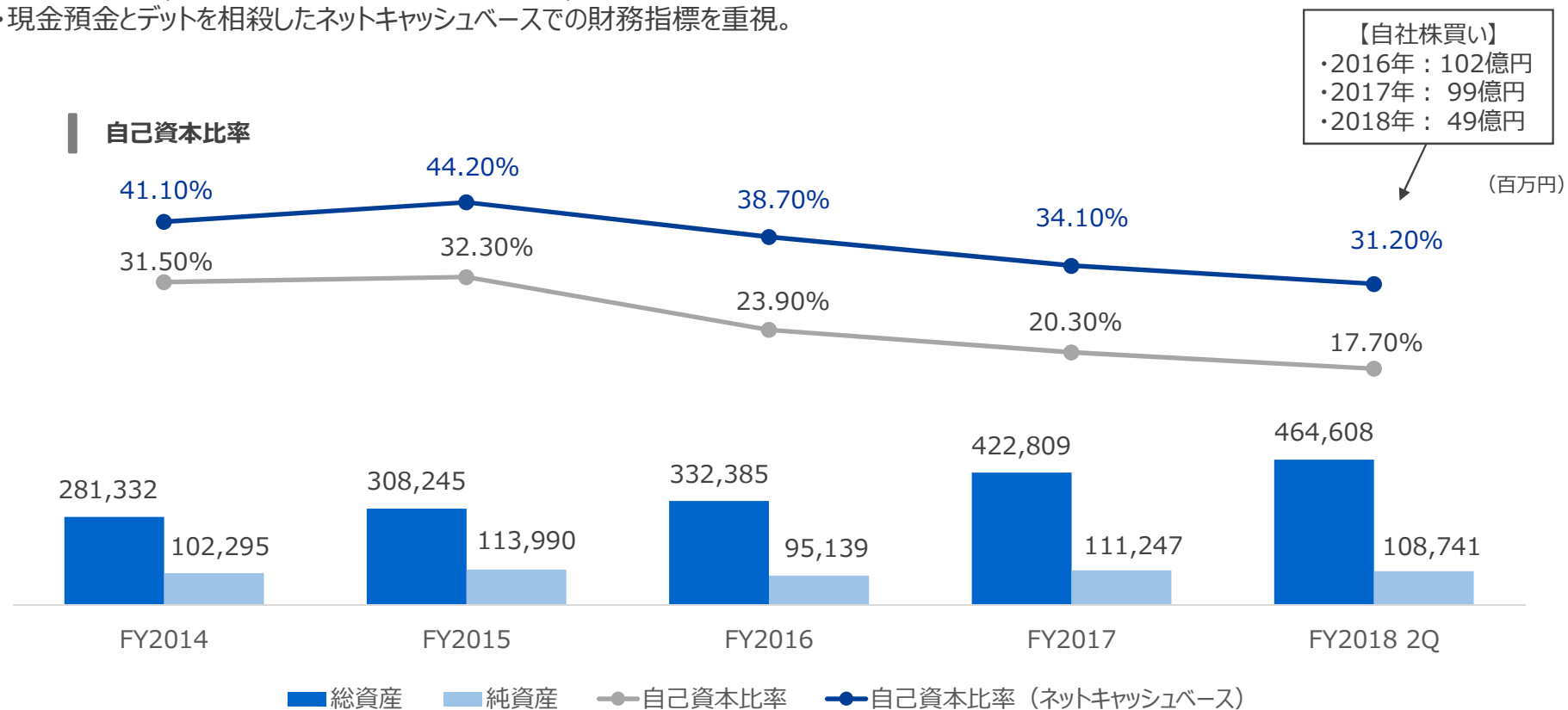
(百万円)



財務状況

■ キャッシュポジション

- ・現金預金 (2,013億円) ←→ 有利子負債 (2,005億円)
- ・現金預金とデットを相殺したネットキャッシュベースでの財務指標を重視。

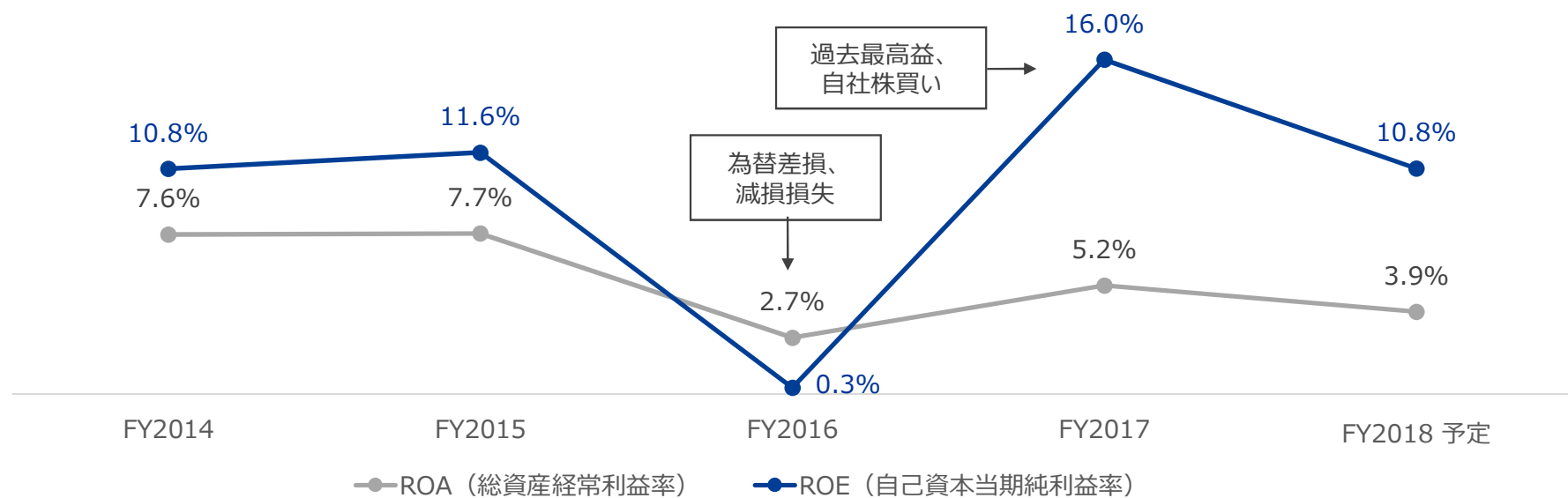


財務状況

■ 資金需要

- ・設備投資とM&Aで年間500億円程度を見込む。
→2018～2020年の3か年で1,500億円程度。
- ・ROEは2ケタ維持。ROIは5～10%を基準とする。

ROAとROE





本資料に関するお問い合わせは、弊社IRまでご連絡ください。

